

アルカスSASEBO COMPASS

【アルカスSASEBO 情報誌:コンパス】

2022年度 ラインアップ速報！

レゲエ界の至高のシンガー
「PUSHIM」
登場！



2022.5.22
THUMBS UP FESTIVAL!

冬
Winter
2022

1 → 3

冬

1 → 3

令和4年1月1日発行 【編集・発行】公益財団法人 佐世保地域文化事業財団

アルカスSASEBO
ジュニアオーケストラ通信 Vol. 35

この度、佐世保南ロータリークラブ様(会長 山口嘉浩様)より、トロンボーンを寄贈していただきました。佐世保南ロータリークラブ様には、これまでも数々の楽器や、演奏会の際に着用しているブレザー(男性)とロングスカート(女性)を寄贈していただいております。10月22日(金)、弦楽器・管楽器の計12名の団員がお礼の演奏に行っていました。代表してヴァイオリンの山本さんが「皆様のご支援のおかげで、楽器を始めたい子どもたちが、音楽に触れることができています」と心からの感謝の言葉を伝えました。2月に開催される第10回定期演奏会では、皆様のお耳にこの楽器の輝かしい音色をお届けできるのが楽しみです(*'▽')佐世保南ロータリークラブの皆様、本当にありがとうございました！

佐世保の音楽文化、益々の発展のため、そして、素敵な音楽を皆様にお届けできるよう、ジュニアオーケストラ団員一同、頑張っていきます！



共催：佐世保市、佐世保市教育委員会

私達は、アルカスSASEBOジュニアオーケストラを応援しています。



アルカスSASEBOでは、ジュニアオーケストラをご支援いただくスポンサー制度を設けております。詳しくはお問い合わせください。

公式 Facebook・Twitter・Instagram



公益財団法人 佐世保地域文化事業財団

〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町2-3

TEL0956-42-1111 FAX0956-24-0051

【営業時間】午前10時～午後6時30分
(施設申し込み、チケット販売・予約、アルカスクラブ受付)

※第2・4水曜日は休館となります。



私達は、アルカスSASEBOの文化事業への協賛を通して地域文化の振興を支援するオフィシャルパートナーです。

Japanet

ARKAS CLUB INFORMATION

令和4年度アルカスクラブ
会員優待企画の新事業として
「アルカス四季の映画祭(仮)」を
スタートします。

毎回、大勢の会員の皆様にご好評をいただいていた「アルカス映画祭」をバージョンアップ。春、夏、秋、冬季節ごとに、近隣の映画館では上映される機会がなかった様々なジャンルの名作、話題作、旬の新作など年間を通じて16作品をラインアップしてお届けします。

春編は、5月7日(土)・8日(日)の2日間にわたって4作品を上映。プログラムは現在選考中。上映作品は1月25日配布の「アルカスNEWS 2・3月号」でご案内いたします。どんな作品が上映されるか、どうぞお楽しみに！

ARKAS CINEMA
アルカスクラブ会員優待事業
アルカス四季の映画祭(仮)
5月7日(土)・8日(日) ■中ホール
※チケット発売は3月5日(土)を予定しています。

【自由席】
(アルカスクラブ会員)
1作品鑑賞券 500円(1作品につき、ご本人様のみ適用)
春編全作品鑑賞券 1,500円
(会期中に上映される4作品のセット券です。ご本人様1セットのみ適用)

〈一般〉1作品鑑賞券1,000円／春編全作品鑑賞券3,000円

※未就学児の入場不可。作品によっては年齢制限がある作品があります。

映画ファンの皆さんは、
ぜひこの機会に「アルカスクラブ」に
ご入会ください。

アルカスクラブ会員募集中！！

ホワイト	オレンジ
入会金／無料 年会費／500円	入会金／500円 年会費／3,000円
①チケット 5%OFF ②割引購入枚数 2枚 ③会員先行販売(窓口のみ) 一般発売日から電話予約可能	①チケット 10%OFF ②割引購入枚数 2枚 ③会員先行販売(窓口・電話予約) ④情報誌「コンパス」年4回送付
トク 会員先行販売 一般発売よりも早く購入できます。	トク チケット割引 5%～10%OFF
トク 希望者全員にFAX・メールで 新着情報のご提供	トク 会員優待 会員限定 企画
	トク アルカスクラブ会員証を提示すると… 協力店での優待サービス！

※チケットの引きサービス及び先行販売・予約はアルカスSASEBOが指定する催し(公演)が対象となります。※催し(公演)によってはチケットの発売枚数に制限がある場合もありますので、予めご了承ください。

WEB ▶ 最新の公演情報はアルカスSASEBOホームページをご覧ください。

MAIL ▶ メール会員も募集中！最新のチケット発売情報がお手元に届きます。

音楽が大好きで、オーケストラで一緒に楽しく活動する仲間を募集します♪

2022年度 新規団員募集

※入団希望の方は4月9日(土)に開催予定の入団説明会にご参加ください。

※募集楽器や人数、対象などの詳細はアルカスSASEBOホームページにてご確認ください。

〈募集期間〉2月1日(火)～4月15日(金)

初心者でも安心、個人レッスンでじっくり学べる
ジュニアオーケストラアカデミー

初心者はアカデミーからスタートし、個人レッスンで1～2年間しっかりと基礎を学びます。音楽講座、リズム講座で演奏に必要な力も身に付けます。

オーケストラならではの重厚なサウンドと
一体感を一緒に味わおう！

アルカスSASEBOジュニアオーケストラ

ジュニアオーケストラでは3つのクラスに分かれて活動しています。

アンサンブルクラス 小編成のアンサンブルを学ぶ
(弦楽器のみ) クラス

B合奏 弦楽合奏、管打合奏を中心に合奏を学ぶクラス

A合奏 オーケストラの合奏演奏で活動する上級クラス

入団説明会 4月9日(土) 14:00～15:00

アルカスSASEBOジュニアオーケストラ入団説明会を行います。入団を希望している方は可能な限りご参加ください。アカデミーの入団を希望している人で、どの楽器にするか迷っている人は、説明会の中で行う「楽器紹介・体験」で自分の希望する楽器にどんな特徴があるのか聴いてみてください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため体験可能楽器は一部の楽器のみを予定しております。新型コロナウイルスの状況によっては楽器紹介のみとさせていただきます。



坂口：前回の定期演奏会よりも、さらに成長した演奏を聴いてもらいたいです！



山下：今回の合同演奏でまた一緒に演奏したいと思ってもらえるようにしたいです！



藤原：今回の合同演奏の「威風堂々」は、意外と難しくて大変です。前回iichikoグランシアタ・ジュニア



オーケストラと交流した時(国民文化祭おおい2018オーケストラと合唱の祭典で共演)よりも仲良くなって演奏したいと思います。

今回は大分県のiichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ、福岡県から福岡ジュニアオーケストラの有志との合同演奏もありますが、



石甲斐：新世界よりの第2楽章は、日本では「家路」としてもよく知られている曲。そのほかの楽章もいろいろなところで使われているので、誰にでも楽しんで聴いてもらえると思います。



藤原：オーボエやファゴットなど、吹奏楽ではあまり目にしない楽器も今回のプログラムではたくさん活躍します。オーケストラではそういった楽器にも注目して聴いてもらいたいです。



坂口：今はまだ自分の演奏の事で精一杯だけど、余裕をもって演奏できるように頑張りたいです。今年は別の指揮者の先生とリハーサルをする機会もあって、そこで学んだことも定期演奏会で出せるようにしたいです。



山口：「新世界より」は第1回、第3回定期演奏会でも演奏している曲。よく知られている曲だし、前回より良い演奏をしなければというプレッシャーもあります。



アルカスSASEBOジュニアオーケストラ 第10回定期演奏会

2012年4月にアルカスSASEBOを拠点に活動するジュニアオーケストラとして「アルカスSASEBOジュニアオーケストラ」が誕生しました。2021年は活動開始から10年目を迎え、第10回目の定期演奏会を2月に開催します。団員代表・副代表をはじめとするリーダーの皆さんに定期演奏会に向けて話を聞きました。



団員代表
(ヴァイオリン)
坂口 楓



団員副代表
(ヴィオラ)
山口 実来



団員副代表
(クラリネット)
藤原 万葉



セクションリーダー
(フルート)
山下 愛莉



インスペクター
(トロンボーン)
石甲斐 渉



坂口：初めてのこと、新しいこともある中、第10回目という節目に新しいジュニアオーケストラの姿を見せられたら良いと思います。



山口：初めてのこと、新しいこともある中、第10回目という節目に新しいジュニアオーケストラの姿を見せられたら良いと思います。



山下：第10回目の節目だし、初挑戦すること多い。自分たちが成長してきた姿を見せたいです。



石甲斐：演奏を聴くお客様も演奏する自分達も、どちらもが楽しいと思える演奏会にしたいです。



藤原：今まで活動が出来ていなかったり、中止によって聴いてもらえなかった分も第10回定期演奏会で聴いてもらいたいです。



山下：豊嶋先生と共演する「序奏、ロンドとカプリチオーソ」もマンガ「四月は君の嘘」中でも登場する曲なので聴いたことがある人もいられるかもしれません。



藤原：「威風堂々」も良く知られている曲です。他のジュニアオーケと一緒に演奏するので、迫力や音も自分達だけの演奏とは何倍も変わってくると思います。そういうところも聴きごころだと思っています！



山下：入団した時はお姉さんばかりだったのが、いつの間にか高校1年生で自分が上の立場になりました。自分が入団する前に聴いた定期演奏会で「ドヴォルザーク作曲／交響曲第9番「新世界より」」を演奏していたすごいと思ったし、みんなバリバリ弾いていてカッコ良いと思いました！その時の曲を今度は自分が演奏するとなると…



藤原：自分たちが団のみんなを引っ張る立場になってきたから、その気持ち強いのかもかもしれません。



石甲斐：年々演奏する曲の難易度が上がっている気がするのでプレッシャーも感じているけど、同時に期待も感じています。



藤原：2021年3月の第9回定期演奏会以降、夏の「アルカス九十九島音楽祭」が中止になって演奏できなかったのが、第10回定期演奏会でお客様の前で演奏するのが1年ぶりの人もいます。節目の定期演奏会ということもあって失敗できないというプレッシャーを感じています。



坂口：昨年に引き続いて今年も活動休止期間があったりして練習回数が少ないけれど、第10回目という節目の定期演奏会だからこそ頑張りたいです。今年は開催日が2月なので前回よりも早く、練習期間も短いのでみんなで頑張らなければいけません！

第10回定期演奏会に向けて
どんな心境ですか？

アルカスSASEBOジュニアオーケストラ 第10回定期演奏会

2022年4月に創立10周年を迎えるアルカスSASEBOジュニアオーケストラ。記念すべき第10回公演は、第8回公演で共演がなかったミュージックアドヴァイザーの豊嶋泰嗣との共演、久しぶりの交響曲「新世界より」への挑戦、大分、福岡のジュニアオーケとの合同演奏と盛りだくさんの内容でお届けします！

2月13日(日) 開場13:15/開演14:00
■大ホール

開場中にアカデミー生による演奏発表を行います。

【全席指定】一般500円 子ども(3才～高校生)無料 ※要座席指定整理券

〈予定曲目〉序奏、ロンドとカプリチオーソ(サン＝サーンス) ソリスト 豊嶋泰嗣

行進曲「威風堂々」第1番(エルガー)

交響曲第9番 短調「新世界より」Op.95(ドヴォルザーク) ほか



〈出演〉豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)、清水醒輝(指揮)
アルカスSASEBOジュニアオーケストラ(管弦楽)
iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ
福岡ジュニアオーケストラ



©中倉社志樹



©中倉社志樹



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット好評発売中



山口：先生と演奏中に目が合った時先生と意思疎通できた気がして安心します。



石甲斐：練習以外の休憩の時など、どんなシチュエーションでも団員みんなに話かけてくれるのもすごくうれしいです。



山下：演奏を聴いて的確に指導してくださるし、どうやって練習したら良いかもしっかりと伝えてくださるので、その後の練習に取り組みやすいです。



山口：清水先生は忙しい中、何回も指導に来てくださるので本当にありがたいです。



坂口：本当は第8回定期演奏会で演奏するはずだった曲なので、その分今回は頑張って演奏したいです。



山下：この曲すごく緊張します！中止となった第8回定期演奏会(2020年4月)の事前練習で豊嶋先生とリハーサルした時めちゃくちゃ緊張したのを覚えています！

初共演となるミュージック・アドヴァイザー 豊嶋泰嗣先生との「サン＝サーンス作曲／序奏、ロンドとカプリチオーソ」について



山口：確かにすごく迫力があってすごかったです！今回も迫力ある演奏をたくさんの人に味わってもらって、新しい仲間がたくさん増えてほしいと思います。

公益財団法人 佐世保地域文化事業財団では、
市民参加型事業として **普及** **育成** **交流** の3つの切り口で、様々な文化事業を実施しています。

レジデンス弦楽四重奏団 アルカス・クアルテット



2011年に結成した弦楽四重奏団。国内外で活躍する4人の演奏家が一週間佐世保に滞在し、佐世保でしか聞けないコンサートを創るとともに、ジュニアオーケストラへの指導と、地域へ室内楽の楽しさを届けています。

普及

伝統文化 佐世保こども茶道教室



茶室、和室を活かして、現代の生活の中では接することの少ない日本の伝統文化にふれる機会を「茶道」を通じて提供しています。運営については、茶道4流派の皆さまのご協力のもと行っております。

共催：表千家流、裏千家流
宗偏流、鎮信流

交流

アルカスSASEBO ジュニアオーケストラ



2012年、「佐世保市児童管弦楽団」を前身に、アルカスSASEBOを拠点に活動するジュニアオーケストラとして発足。佐世保市を中心とする小学3年生～高校生の約80名が在籍。年1回の定期演奏会のほか様々な活動を通して、心豊かな未来の担い手育成を目指しています。

育成

子どものための 芸術鑑賞体験教室



佐世保市内の小学5年生を対象に、プロのオーケストラと指揮者を招き、次世代を担う子どもたちに音楽を愛する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことを目的に開催しています。

普及

ロビーコンサート



生の音楽に気軽にふれていた、音楽の素晴らしさを伝え、地元演奏家に演奏を披露する機会を提供しているコンサート。2004年から17年間続いており、現在までに総勢171組の個人・団体の皆さまが出演し、多様なジャンルの演奏を披露いただいています。

普及

音楽アウトリーチ事業 「演奏家がやってくる！」



オーディションで選ばれた地元演奏家が、それぞれの技術を活かした個性的な音楽の授業をお届けする2016年度から実施している事業。慣れ親しんだ音楽室で、コミュニケーションを取りながら生の演奏を体験することで、豊かな感性を育むことを目的に開催しています。

普及

佐世保市博物館島瀬美術センター デッサン教室



浦郷利安先生のご指導のもと、気軽に美術に携わるための体験や創作活動の場を提供するため、毎週日曜日13:00～15:00、15:00～17:00の2部構成で実施。デッサン教室では、木炭デッサン、鉛筆デッサンを学ぶことが出来ます。

育成

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに基づき、感染症対応を行って実施します。収容率等につきましては、各公演のチラシ、情報紙、ホームページ等でご確認ください。また、都合により日程・内容等が変更になる場合がございます。

佐世保JAZZ in アルカスSASEBO 2022

10月9日(日) ■大ホール

主催：佐世保ジャズ実行委員会

リトアニア・ビリニュス市 合唱団「ヤウナ・ムジカ」

10月14日(金) ■大ホール

共催：MIN-ON

ドレミであそぼう！ 0才からのクラシック ～音楽とアートで楽しむ ハロウィンコンサート～

10月30日(日)

■イベントホール
〈出演〉アートムジカ
永田明(フルート)
関家真一郎(打楽器)
ささきりょう(パフォーマー)ほか

坂東玉三郎 お話と素踊り

11月6日(日) ■大ホール

〈出演〉
坂東玉三郎
富山清琴
富山清仁



アルカスクラブ会員優待事業 アルカス四季の映画祭〈秋〉

11月19日(土)・20日(日)

■イベントホール

第11回 させば文化マンス

11月26日(土)・27日(日) ■全館

侍BRASS

12月3日(土)

■大ホール



アルカスクラブ会員優待事業 アルカス四季の映画祭〈冬〉

2023年3月4日(土)・5日(日)

■イベントホール

アルカスSASEBO ジュニアオーケストラ 第11回定期演奏会

2023年3月19日(日) ■大ホール

ホール探検ツアー

8月4日(木)・5日(金) ■全館

レジデンス弦楽四重奏団 アルカス・クアルテット 第10回定期演奏会

8月6日(土)

■中ホール

〈出演〉
川崎洋介(第1ヴァイオリン)
西野ゆか(第2ヴァイオリン)
柳瀬省太(ヴィオラ)
辻本玲(チェロ)



アルカスクラブ会員優待事業 アルカス四季の映画祭〈夏〉

8月13日(土)・14日(日) ■イベントホール

アルカス九十九島音楽祭2022

8月20日(土)・21日(日) ■全館

アルカスSASEBO ジュニアオーケストラ 10周年記念コンサート

8月28日(日) ■大ホール



ランチタイムコンサートVol.29

泉真由×松田弦
(フルート・クラシックギター)

9月7日(水)

■中ホール



広島交響楽団

9月24日(土) ■大ホール



〈出演〉
下野竜也(指揮)
清水和音(ピアノ)



アルカス寄席

5月1日(日)

■イベントホール

〈出演〉
落語：三遊亭らっ好
三遊亭好楽
三遊亭しゅりけん
江戸太神楽：鏡味仙志郎



アルカスクラブ会員優待事業 アルカス四季の映画祭〈春〉

5月7日(土)・8日(日) ■中ホール

ドレミであそぼう！ 3才からのクラシック ～テルミンとマトリョミン～

5月14日(土)

■イベントホール

〈出演〉竹内正実
(テルミン、
マトリョミン)ほか



第22回別府アルゲリッチ音楽祭提携公演 ランチタイムコンサートVol.27

三浦一馬 バンドネオン リサイタル

5月19日(木)

■中ホール



若者向け地域活性化事業 THUMBS UP FESTIVAL in アルカスSASEBO

5月22日(日)

■大ホール

〈出演〉PUSHIM
(レゲエ・シンガー)ほか



北村朋幹 ピアノ・リサイタル

6月11日(土)

■中ホール



ランチタイムコンサートVol.28 小國雅香ジャズライブ

7月22日(金)

■中ホール

〈出演〉
小國雅香(ピアノ)
小笠原由美
(サクソフ・フルート)



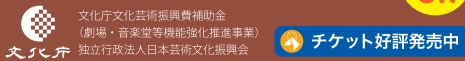
佐世保市民文化ホール

大正時代に思いをはせて
～文化財で聴く、大正の名曲コンサート～

佐世保市民文化ホールが建設された大正時代は、日本独自の音楽が大きく花開いた時代でもあります。今回のコンサートでは、この大正時代に生まれた作品・親しまれた作品を、長崎県在住の音楽家たちの演奏でお届けいたします。佐世保が誇る歴史的建造物で当時の音楽をお楽しみください。

3月6日(日)

開場13:30/開演14:00(終演予定16:00)
■佐世保市民文化ホール(凱旋記念ホール)
【全席自由】500円 ※アルカスクラブ会員等の割引はありません
(出演)安部まりあ(ピアノ)
西海メンネル・コール、花の森コーラス(合唱)
菊の会(邦楽)
ラリルノ/小川勉(Ben・クラリネット)、aya(フルート)、ayu(ピアノ)
(予定曲目)
哀詩「荒城の月」を主題とする変奏曲(山田耕作/安部まりあ)
早春賦(作詞・吉丸一昌、作曲・中田章/西海メンネル・コール)
浜辺の歌(作詞・林古溪、作曲・成田為三/花の森コーラス)
唐砦・さくら変奏曲(宮城道雄/菊の会)
オペレッタ『天国と地獄』より(J.オッフェンバック/ラリルノ) ほか



チケット好評発売中

出演者募集！

2022年度アルカスSASEBO
ロビーコンサート出演者募集！

生の音楽の素晴らしさを伝えること、地元演奏家の方々に演奏の場を提供することを目的に開催しているロビーコンサートです。演奏活動をPRしたい皆さまからのご応募をお待ちしています！



【募集日時】①7月29日(金)19時～20時 ②11月27日(日)17時～18時
③2023年2月11日(土・祝)14時～15時

【会場】①②:エントランスロビー ③:交流スクエア

【対象】プロ・アマ・ジャンルは問わず、音楽活動をしている個人や団体で、アルカスSASEBOロビーコンサートの趣旨に賛同していただける方。原則、マイク等を使用しない生演奏。
※過去に出演された方は、前回の出演から2年以上経てれば応募可能

【演奏時間】20分程度

【申込方法】申込用紙に必要事項を記入し、写真1枚と演奏を記録したもの(CD・DVD等)を添付のうえ【〒857-0863 佐世保市三浦町2-3 アルカスSASEBOロビーコンサート係】まで郵送・持参、または申込用紙と写真データ・演奏音源データ(WAVE・MP3等)を添付のうえ【bosyu@arkas.or.jp】までメールにてお申し込みください。申込用紙はアルカスSASEBO館内に配布中。ホームページからもダウンロードできます。

【応募締切】2月11日(金・祝)必着
申込用紙・音源をもとに選考。結果は2月下旬にお伝えいたします。

【その他】出演が決定した場合、交通費として規定の金額をお支払いするほか、公演チラシや財団の情報紙等で出演者の紹介を行います。詳しくは申込用紙をご覧ください。

演奏家募集！

アルカスSASEBO音楽アウトリーチ事業
「演奏家がやってくる！」
第3期生演奏家募集

2016年度より取り組んでいる音楽アウトリーチ事業「演奏家がやってくる！」。小学4年生が対象のこの事業は、オーディションに合格し1年間研修を積んだ地元演奏家が、佐世保市内の小学校の音楽室へ出向き特別授業を行い、生演奏を通じて音楽の楽しさ・喜びを伝える活動です。今回、2023年度～2024年度に演奏家として活動を行う第3期生の募集を行います。詳しくは2月に公開予定の募集要項をご覧ください。



第49回長崎県新人演奏会

長崎県クラシック音楽家の登竜門、新人演奏会が再びアルカスSASEBOで開催。オーディションで選ばれたフレッシュな演奏家の熱演にご期待ください！



第48回長崎県新人演奏会の様子

6月19日(日) 開場13:30/開演14:00
■中ホール

【全席自由】大人1,000円、小～高校生 無料(要入場整理券)

主催:長崎県文化団体協議会 共催:長崎県、佐世保市、時津町、アルカスSASEBO
お問合せ:長崎県文化団体協議会(長崎県文化振興課内) TEL095-822-6049

長崎県文化団体協議会HP

アルカスクラブ
一般プレイガイド
同時発売:5月1日(日)



イベントホール

音楽室で使ったあの楽器。ピアノ・リコーダー・鍵盤ハーモニカのトリオが初登場！
ドレミであそぼう！3才からのクラシック
おながくしつトリオ

子どもたちには身近な楽器で音楽の楽しさを、オトナのみなさんは懐かしい音色でタイムスリップ☆クラシックの名曲から耳なじみのある曲までとびきり素敵なアンサンブルをお届けします♪



©おのしの

2月27日(日) 開場13:30/開演14:00(終演予定15:00)
■イベントホール

【全席自由】一般1,000円 子ども(0才～高校生)500円

(出演)おながくしつトリオ

内藤 晃(ピアノ)、下中拓哉(リコーダー)、菅谷詩織(鍵盤ハーモニカ)

(予定曲目) Shall we dance?(ロジャーズ)

「動物の謝肉祭」フィナーレ(サン＝サーンス) ほか

3才OK
託児サービス

チケット好評発売中

アルカス寄席

5月1日(日) 開場13:30/開演14:00
■イベントホール

※詳しい公演情報は8ページをご覧ください。

ドレミであそぼう！3才からのクラシック
～テルミンとマトリョミン～

世界で初めての電子楽器テルミンと、そのお友だちで手のひらサイズの可愛い楽器マトリョミン。どんな風に演奏するのかな？どんな音がするのかな？見ても聴いても楽しめる、不思議な世界にご案内します！



5月14日(土) 開場10:30/開演11:00(終演予定12:00)
■イベントホール

【全席自由】一般1,000円 子ども(3才～高校生)500円

(出演)竹内正実(テルミン、マトリョミン) ほか

(予定曲目) アヴェ・マリア(J.S.バッハ/C.グノー)

野ばら(H.ヴェルナー) ほか

3才OK
託児サービス

アルカスクラブ
一般プレイガイド
同時発売:2月26日(土)

関連企画

『マトリョミンを演奏してみよう！』

演奏会後にマトリョミンを実際に演奏していただくワークショップを開催します！
対象や申込方法などの詳細は公演チラシ(2月中旬配布開始予定)をご覧ください。

アルカス館内
お子様をお預かりします。 託児サービスございます！

〈料 金〉一人につき アルカスクラブ会員500円/一般1,000円
(対 象)長崎県内在住の未就学児(1才以上)
(申 込 先)佐世保ステーション保育園 TEL0956-20-0900
(受付時間)月～土 10～20時 (申込締切)対象公演の4日前まで



中ホール

お昼間の1時間で気軽に楽しむクラシックコンサート
ランチタイムコンサートVol.26
リズムを楽しむ午後
～九響メンバーによる打楽器アンサンブル～

アルカスクラブ
会員
優待

人気のシリーズ第26回目のコンサートは、九州交響楽団の打楽器メンバーによるアンサンブルをお届けします。お昼から元気になれるリズムコンサートをお楽しみください！



2月1日(火) 開場11:00/開演11:30
(終演予定12:30)
■中ホール

【全席指定】アルカスクラブ会員 500円(ご本人様のみ適用)

一般1,000円、ペア券1,500円

(出演)九州交響楽団打楽器メンバー:森 洋太、黒川英之、伊藤拓也、吉永優香

(予定曲目) 剣の舞(ハチャトゥリアン)

二対のティンパニのためのマーチ(フィリドール)

ボディーパーカッションによるパフォーマンス ほか



NBC Classic

チケット好評発売中

アルカスSASEBOロビーコンサートVol.85

観覧
無料

2月19日(土) 開場13:30/開演14:00
(終演予定15:00)
■中ホール



新型コロナウイルス感染症対策のため、会場を特別に中ホールに変更して実施します。ご入場の際には、座席指定整理券が必要です。

(出演)嬉野市民吹奏楽団(金管アンサンブル)、山口紗弥(ピアノ)

(予定曲目)「ラ・ベリ」のファンファーレ(P.デュカス/嬉野市民吹奏楽団)

「リゴレット」演奏会用パラフレーズ(F.リスト/山口紗弥) ほか



0才OK
座席指定整理券
2022年1月15日(土)配布開始
お一人様1枚まで

第22回別府アルゲリッチ音楽祭提携公演
ランチタイムコンサートVol.27
三浦一馬バンドネオンリサイタル

5月19日(木) 開場11:00/開演11:30(終演予定12:30)
■中ホール

※詳しい公演情報は9ページをご覧ください。

北村朋幹 ピアノ・リサイタル

今、最も注目を浴びる若手ピアニストの一人・北村朋幹がアルカスSASEBOに初登場！作品への知的なアプローチや深い音楽性から紡ぎ出される彼の音楽は、聴く人の心を魅了してやみません。彼ならではの考え抜かれたプログラムを、どうぞご期待ください！

6月11日(土) 開場13:30
■中ホール 開演14:00

【全席指定】

一般3,000円

学生(小～大学生)1,000円

(当日500円増)

(予定曲目)2月上旬に発表予定



KITAKA MAYUMI

70歳、新人。
NBC Classic

アルカスクラブ先行発売
3月12日(土)

一般プレイガイド発売 3月19日(土)

最新 LINE UP

&Information | 1月→6月

新型コロナウイルス感染症の影響により催しの中止、日程、内容等が変更される場合があります。また、現在政府により示されている催し物の人数制限や収容率が緩和された場合は、チケットの追加販売を実施する可能性がございます。ご了承ください。

※指定席の学生券(小～大学生)はアルカスSASEBO及びチケットびあ、ローソンチケット、イープラスのみでの取り扱いです。(ご購入及び公演当日、学生証の提示をお願いする場合がございます。)
※特に明記のない催しについては、未就学のお子様の入場はご遠慮いただきます。
※料金はすべて税込表示となっております。

大ホール

スターダスト☆レビュー 40周年ライブツアー
『年中模索』
～しばらくは、コール&ノーレスポンスで～

1月23日(日) 開場16:00/開演17:00
■大ホール

【全席指定】7,500円(当日500円増)

※お一人様4枚まで

主催:BEA / KTNテレビ長崎 / FM長崎
共催:アルカスSASEBO 企画制作:ラプソディ
後援:日本コロムビア株式会社
協賛:CRYSTAL GEYSER



チケット好評発売中

【必ずご確認ください】

◆【チケットに関して】ガイドラインによる入場数制限等は依然、流動的となっており、ため、チケットを複数枚ご購入いただいても、ご同行者様と並びのお席にならない場合や、間に別のお客様が入る場合がございます。また、お席はお選びいただけません。
◆チケットの発券は公演の2週間前を予定しております。予め、ご了承いただきますようお願いいたします。

アルカスSASEBOでチケットをご購入のお客様へは、チケット購入後、チケットの代わりに「購入確認券」をお渡しいたします。公演2週間前から予定しているチケット発券の際に、こちらの「購入確認券」を座席が記された公演チケットと引き換えいたします。

アルカスSASEBOジュニアオーケストラ
第10回定期演奏会

2月13日(日) 開場13:15/開演14:00
■大ホール

※詳しい公演情報は2・3ページをご覧ください。

レゲエ界の至高のシンガー PUSHIM(プシン)がアルカスSASEBO初登場！
若者向け地域活性化事業
THUMBS UP FESTIVAL in アルカスSASEBO

パリ・オリンピックの新競技として追加されたダンススポーツ競技のブレイキン(ブレイクダンス)にも注目し、佐世保市出身のブレイクダンサーで、2008年日本人初の個人での世界大会準優勝を成し遂げ、佐世保観光名誉大使でもあるTAISUKEが所属しているTHE FLOORRIORZからも出演予定！



5月22日(日) 開場13:30
■大ホール 開演14:00

【全席指定】4,600円(当日5,000円)

(出演)PUSHIM(プシン/レゲエ・シンガー)

THE FLOORRIORZ

(フロア・アリーナ/ブレイクダンス)より ほか

アルカスクラブ先行発売
2月19日(土)

一般プレイガイド発売 2月26日(土)

三浦一馬 インタビュー

Mitsuru Kazuma

第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たし、日本を代表するバンドネオン奏者として、国内外で活躍中の三浦一馬さん。音楽祭との関わりや、楽器の魅力などについてお話をお伺いしました。

■ 今回、9年ぶりに「別府アルゲリッチ音楽祭提携公演」を開催させていただくことになりました。三浦さんとアルゲリッチさんや音楽祭との関わりについて教えてください。

「別府アルゲリッチ音楽祭」には、僕の人生最大ともいべき転機・ご縁を与えていただきました。それは、僕の愛すべき師匠、ネストル・マルコーニ氏との出会いです。マルコーニ氏は、現在、世界最高峰とも言われるバンドネオン奏者であり、プレイヤーとして以外にも、作曲、編曲、楽団指揮、プロデュース…多くのフィールドにて今も活動を展開されています。そして、僕がバンドネオンを勉強する中で、ずっと長い間憧れていた輝かしい存在でもありました。

僕が氏と出逢ったのは2006年のこと。ずっと憧れていたバンドネオンの巨匠が、「別府アルゲリッチ音楽祭」に出演するため来日するという情報を得たのです。当時は高校に入学したてでしたが、ちょうど開催のタイミングが高校最初の春休み。このタイミングに感謝しつつ、九州まで出向くことにしたのです。初めて目の前で聴いた、“巨匠”の演奏…それは今振り返っても「打ちのめされた」…というような表現が決して比喩では終わらない程、衝撃的なものでした。(今まで自分が思い描いて来た、バンドネオンの「限界」が、ガラガラと音を立てて崩れ落ちた、とでも言えば良いのでしょうか…) その出会いがきっかけとなり、同じ年の夏には初めてアルゼンチンに勉強に行けることにもなりまし、5年後の2011年には、出演者として音楽祭に招いていただきました。そして、今でも事有る毎に音楽祭関連コンサートにもお声掛けをいただいております。改めて、このご縁というものに心から感謝しています。

国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たし、国内外で活躍中の人気バンドネオン奏者！

第22回別府アルゲリッチ音楽祭提携公演 ランチタイムコンサートVol.27

三浦一馬バンドネオンリサイタル

世界的ピアニスト マルタ・アルゲリッチも認める若手実力派バンドネオン奏者三浦一馬がランチタイムコンサートに登場！ガーシュウィン&ピアソラをテーマに、北米(ガーシュウィン) & 南米(ピアソラ)を行き来しながら、その魅力に迫る1時間をお楽しみいただきます。

5月19日(木) 開場11:00/開演11:30(終演予定12:30) 中ホール

【全席指定】アルカスクラブ会員500円(ご本人様のみ適用) 一般1,000円、ペア券1,500円

(出演) 三浦一馬(バンドネオン)、高橋優介(ピアノ)

(予定曲目) リベルタンゴ(ピアソラ)、ラブソディ・イン・ブルー (ガーシュウィン) ほか

※新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに基づき、感染症対策を行い収容率100%で実施する予定です。

©井村重人

■ バンドネオンという楽器は、中々目にする機会もなく、楽器名を初めて聞く方も多いと思うのですが、楽器の魅力について教えてください。

バンドネオンという楽器は、1840年代に発明されました(楽器名は、発明したハインリヒ・バンドの名に由来)。今でこそ、アルゼンチンの「タンゴ」というジャンルの音楽で一番多く耳にする楽器ではありますが、発明されたのは、ヨーロッパ・ドイツでした。元は、携帯式のパイプオルガンとして儀式などに用いられていたようですが、その後、移民と共に新天地・アルゼンチンへと渡り、タンゴの花形楽器として栄えました。

バンドネオンの魅力は、何と言っても、その独特な音色でしょう。聴く人の一番深いところにまで降りていき、まるで本能にまで訴えかけるその音色は、バンドネオンが持つ不思議な魅力だと思っています。

■ 公演を楽しみにされているお客様へメッセージをお願いします。

僕が初めてアルカスSASEBOの舞台に立たせていただいたのが、恐らく2010年頃の、まだ駆け出し時分ではありましたが、皆さまには、とても温かく迎えていただけたことを覚えています。今回のステージは、それ以来、およそ10年ぶりとなりますが、また皆さまにお会いできますこと、そして一緒に時間を共有できますこと、今から楽しみにしております！



©井村重人

©Ayane Shindo

「三遊亭好楽さんの出でいひんを教えてください。」

芸名を授かる時に、好楽の寄席池之端しのぶ亭にて初めてお会いいたしました。なぜ落語家になろう

長崎大学の新入生歓迎会でやたらご馳走してくれた先輩について行くと、そこは落語研究会でした。そこから落語の世界に魅せられ、人の前で落語をやる楽しさを知り、こんなに楽しい事しながら生きていける落語家って面白そうだなと思い志しました。工学部では流体力学で空気の流れを読む勉強をしていたのですが、まさか落語家になって客の空気を読むことになるとは思いませんでした。上京し、両国寄席で酒の肴をさも酔っ払ったように演じる師匠好太郎に魅せられその場で入門志願するといきなり居酒屋へ連れて行かれ大ジョッキのビールをご馳走になりました。ジョッキを空にすると師匠から一言「酒飲めるなら大丈夫！」と入門を許されます。後ほど、好楽一門は毎日打ち上げで酒を飲みまくるすごいところでした。酒を飲めるように産んでくれた両親には感謝です。

「落語家になると思ったきっかけは？」

佐世保出身の落語家で、現在東京や長崎で活躍中の三遊亭らっ好さん。落語家を目指したきっかけや大師匠である三遊亭好楽さんとの出会いについてお話を伺いました。

「佐世保ご出身ということで、らっ好さんにとって佐世保はどんな街ですか？」

「思ったの？」と聞かれ「落語が好きになりました。」と言ったところ「それじゃあしょうがないねえ。」と優しく言っていたいただいた時に、なんとも温かい気持ちになったのを覚えております。大師匠好楽にとつて私が初の孫弟子という事でたくさんかわいがってもらい、いろんなところへ連れてっていただきました。都内の寄席、全国各地のホール落語、中央競馬場に地方競馬。本当にかわいがってもらっています。「落語家はいつもおらかな気持ちでいなければならないよ。」常に心に留めてあります。たくさんの人を優しい気持ちにさせる芸を持つ大師匠の様な偉大な落語家になれるよう精進いたします。

生まれ故郷というものは人間必ずあるものですが、私は心から佐世保の生まれで良かったと思います。人はおおらかで、食べ物も美味しく、自然豊かな上、独自の歴史のあるこの佐世保。街へ繰り出し人に会うたびに、この街の奥深さを知ることができます。私は早岐の生まれですから、ちよっぴり街への憧れと言いますが、未だに四ヶ町を歩くと小っ恥ずかしい気分になるのも含めて楽しい街だと思っています。誰だつてこの佐世保が誇らしいと思います。私のお気に入りの羽織と言えますね、「何度でもききたくなる街」です。

アルカス寄席

5月1日(日) 開場13:30 開演14:00

イベントホール

【全席指定】一般3,500円 (当日500円増)

〈出演〉落語:三遊亭らっ好、三遊亭好楽、三遊亭しゅりけん、江戸太神楽:鏡味仙志郎

アルカスクラブ先行発売 2月5日(土)

一般プレイガイド発売 2月12日(土)

※新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに基づき、感染症対策を行い収容率100%で実施する予定です。



しまび ラインアップ

SHI MA BI LINE UP!



第55回 佐世保美術展 ART WAVE FROM THE WEST

5/11(水)~22(日) | 全館

2021年、伝統ある「佐世保市民展」が一押し、2年。応募範囲を佐世保市民だけでなく、西九州ささば広域都市圏に広げ、新たにクリエイティブ部門を新設。ゲスト審査員を迎え新しい「佐世保美術展」を開催。

星野富弘 花の詩画展

9/3(土)~19(月祝) | 3~2階

不慮の事故により頸髄を損傷し、手足の自由を失った星野富弘の作品を展示し、野の花に心を寄せて描いた水彩の詩画を通して生命の尊さを伝える展覧会。



平山郁夫展 ~日本画で旅する道~

11/3(木祝)~12/25(日) | 4~中2階

日本画家の巨匠、平山郁夫の日本画を展示。広島で被爆し、生涯、平和を祈り続けた画家の軌跡について“道”をテーマに、広島県の平山郁夫美術館と山梨県の平山郁夫シルクロード美術館から借用し、紹介する。瀬戸内の景色が描かれたしまなみ海道、代表作のシルクロードなど馴染みのある平山郁夫の世界を堪能できる展覧会。



天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道

アルカス寄席

三遊亭らっ好 インタビュー

百年前の日本

今年は今和四年、西暦二〇二二年である。

初詣で、今年の運を占うのはだしもやることだが、ついでに百年前はどうか、覗いてみるのも「興だろう」。

百年前といえば、大正十一年、西暦一九二二年だ。

このころ、ライスカレー、コロッケ、トンカツ流行る。大正の三大洋食といわれた。令和の今でもみんな好きだよ。

資生堂、美容・美髪・洋装の三科を設置し、美顔術を実施。洋風化が生活全般に及び始めている。例えば三月、上野公園で平和記念東京博覧会が開幕。赤煉瓦の文化住宅が人気を呼ぶ。同じ平和記念館の陳列室に盛装した女性を立たせた。これがマネキンの始まり。

長崎関係でもいろいろあるよ。長崎シンフォニー・オーケストラ発足。九州で最初の管弦楽団だったそう。高島秋帆旧宅・出島和蘭商館跡、シーボルト宅跡が史跡名勝天然記念物に指定される。中川安五郎、カステラの文明堂を創業。百年前から「三時のおやつは文明堂」というていたのかな？

「週刊朝日」「サンデー毎日」創刊。三浦環「恋はやさし」発売。ダンスが大流行し、警視庁が取り締まりを開始した。

小西宗十

1942年長崎県北松浦郡小値賀町に生まれる。中学・高校を佐世保で過ごし、1967年東大仏文科卒業。21年間、講談社出版研究所に勤務し編集に従事。1988年佐世保に帰郷。

風俗営業に引かれたのかしら。

この年一月、大隈重信と山県有朋が死亡している。ともに八十五歳。お互い明治の政界を引っ張ってきた大立者。山県は国葬。大隈は国葬に二歩及ばず、国民葬。しかし大隈の葬儀の方が圧倒的に盛大だったという。山県は、椿山荘を住まいとした。大隈は、早稲田大学を創立した。今ホテル椿山荘と、早稲田大学は、神田川をはさんで、お互いに睥睨し合っている。

この年、寿屋の赤玉ポトワインのポスターに初のヌードが登場、とある。どれどれと色めき立って覗いてみると、いかにも大正時代らしい髪型の女性が、セピア色の肩と胸の丸みを、ほんの申し訳程度にちらりと見せて、その正面に赤いワインのグラス（そこだけカラー）を手に持っている姿。これがヌード？ 開いた口が塞がらない。

この女性、松島栄美子という歌劇女優。日本初の国産高級ワイン「赤玉ポトワイン」のキャンペーンキャパン「赤玉楽劇座」のプリマドンナだったとか。彼女はこの写真のモデルになったお礼に、寿屋の社長島井信治郎から、「カラットのダイヤの指輪をもらったという」。

小西宗十（エッセイスト）

凱旋記念ホール

建物に秘められた鎮守府のものがたり Vol.02



最新技術を駆使した日本海軍の秘密基地

潜水艦が登場した第一次世界大戦ではもう一つ、初めて登場した新兵器がありました。航空機です。第一次世界大戦における航空機の活躍は目覚ましく、各国は航空機の開発に力を注ぎました。その結果、航空機の性能は年を追うごとに進歩し、やがて都市や軍艦に対しても脅威となっていきました。これと同時に、敵の航空攻撃をいかに防ぐか、という「防空」の概念も生まれました。防空は味方地上戦力あるいは航空戦力により敵機の出撃拠点を叩く「積極的防空」と、自陣に出て撃てきた敵機を迎え撃つ「消極的防空」の二種類に分けられます。積極的防空の要は他国へ侵攻可能な自軍の海軍力及び陸軍力であり、消極的防空の要は見張所や高射砲台、防空戦闘機でした。

しかし日本陸海軍は高射砲台などを第二線級の部隊として軽視していたため、本格的に整備が始まったのは支那事変が勃発した昭和12年(1937)以降のことでした。五島列島を中心に8ヶ所の見張所と、佐世保鎮守府周辺に13ヶ所の高射砲台の建設が行われるとともに、佐世保鎮守府と軍港を見下ろす位置にある但馬岳に昭和13年(1938)5月に防空指揮所が完成しました。ここからは佐世保航空基地と大村航空基地に直通回線が設けられており、見張所からの報告を受けるとともに航空機による迎撃を指示する仕組みだったと考えられます。しかし航空機の進歩はまさに日進月歩であり、速度、航続距離はもちろん飛行技術も進歩し、大型機は夜間飛行までも可能となっていました。こうなってくると鎮守府本庁から遠い但馬岳に防空指揮所があることは不便であり、迅速な指揮に支障をきたすこと、また次々と増設される見張所や砲台からの情報を集約する施設としては狭く、機能的に限界を迎えることは容易に想像できたことでしょう。恐らくこれらの理由から、但馬岳山頂の防空指揮所を佐世保鎮守府本庁舎（現在の海上自衛隊佐世保地方総監部）の地下に移転する工事が密かに進められ、昭和17年(1942)12月に完成を迎えました。

新たな防空指揮所は地下2階、総面積は約1,900㎡に及び、地上部には耐爆式の電話交換室棟が設けられていました。地下1階には中央正面に巨大な地図盤と指揮卓が設けられ、それを取り巻くように砲戦発令室、作戦室、空襲警報発令所と各地の陸海軍基地や航空基地との直通回線を備えた6つの情報室などが配置されていました。この防空指揮所で画期的だった点は、集約された情報を全て視覚的に表現していたことにあります。中央正面に設けられた地図盤は複数の区域に区分され、鎮守府を中心として同心円状に多数の電灯が埋め込まれていました。見張所からの報告により敵機の攻撃が予想される区域が緑に点灯し、実際に攻撃を受けた区域は赤に点灯しました。さらに地図盤に埋め込まれた電灯が点灯して敵機の位置を示し、地図盤両側の電光表示板には侵入してきた敵機の機種、機数、高度などが表示されました。また砲戦発令室外側にも各砲台や見張所の動静を示す電光表示板が設けられており、指揮官は多数の情報を視覚的に確認することにより迅速に状況を判断し、命令を下すことができるようになっていました。

現代の艦艇には欠かすことのできないCIC(Combat Information Center=戦闘指揮所)の先祖ともいえる施設だったのです。同様のコンセプトを持つ施設は日本軍もアメリカ軍もほぼ同時に考案していたようですが、ここまで徹底して具体化した施設は世界でも最初期のものだったと考えられます。附属施設にも工夫が凝らされており、各種電気設備が発する熱を抑えるために冷房設備が完備され、水洗トイレまで設けられていました。また防空壕としての役割もあり、鎮守府職員880名を収容することも可能でした。地下2階は長いトンネル構造となっており主に通信室として使用されていました。トンネルは海兵団方面や海軍病院方面へ伸びていますが、どこまで続いているのかはわかっていません。

佐世保鎮守府防空指揮所では昭和19年(1944)6月より本格化していく日本本土空襲において九州一円の海軍基地に対する空襲警報の発報や対空戦闘の指揮を担いました。空襲の際には戦闘報告書が作成されましたが、これには防空指揮所の地図盤の記録から作成されたと考えられる詳細な敵機の飛行ルートが時間毎に記録されており、それらの記録を戦訓として砲台や見張所の施設の充実が図られていきました。しかし終戦間際になると迎撃する戦闘機も不足し、敵機の情報が表示された地図盤をただ見守るしかない状況もあったといいます。

戦後佐世保に進駐してきた米軍は防空指揮所の施設に興味を示し、詳細な調査を行いました。その結果として、防空指揮所のシステムは極めて適切で効果的であることが報告されています。しかしながらレーダーや夜間戦闘機の性能不足、敵味方識別装置の欠如、火器管制システムの不備など防空に関する基本的な欠陥が指摘されており、そのために防空指揮所の優れたシステムが適切に機能できなかったと結論付けています。

その後防空指揮所は不審火(米軍の命令ともいわれる)により内装は全焼してしまいました。海軍が去った佐世保鎮守府の跡には昭和43年(1968)に海上自衛隊佐世保地方総監部が移転し、防空指揮所も一時活用が模索されたそうです。しかしながら実現はせず、防空指揮所は長い眠りの中にありました。そして平成28年(2016)、旧佐世保鎮守府関連の近代化遺産をまとめた「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 日本近代化の躍動を体感できるまち」が日本遺産に認定されたことをきっかけに整備され、翌年から一般公開が開始されました。日本海軍の秘密基地ともいえる佐世保鎮守府防空指揮所は戦争の記憶や当時の最新技術を無言のうちに語り始めています。 佐世保市教育委員会 文化財課 川内野篤



昭和17年に撮影された防空指揮所
(防衛省防衛研究所蔵)



現在の防空指揮所

大募集 ホールボランティアSAV (サーブ)

アルカスSASEBOではホールボランティアの募集を行っています。ボランティア活動を通して文化芸術を支援したい、新たな仲間と社会貢献したいという方のご参加をお待ちしております！

〈活動内容〉アルカスSASEBO主催公演の客席案内などのフロントスタッフや広報活動

〈対象〉18才以上の健康な方(経験は問いません)

〈応募締切〉2月11日(金・祝)必着 ※2月26日(土)に行う説明会&研修会にご参加ください。

〈応募方法〉アルカスSASEBO館内設置の申込用紙を締切日までに提出ください。
申込用紙はアルカスSASEBOホームページからダウンロード可能です。

